

## IV章 駅ごとのまちづくり目標と取組施策

### 基本的な考え方

沿線の市民や事業者、行政が連携、協力して駅周辺のまちづくりを進めるためには、できる限り具体的な駅ごとのまちづくり目標とその実現に向けた取組みを共有する必要があります。また、新たな魅力や活力を持った「進化する都市・仙台」を実現するためには、駅ごとにそれぞれの地域特性を活かしたまちづくりを着実に進め、それらのまちづくりを連携させながら、本市の発展軸となる東西都市軸を創造することが重要です。

このような観点から、IV章では、駅周辺の地域特性やこれまでの地域住民等との協議成果などをふまえ、駅ごとに中長期的なまちづくりの姿を示します。また、地下鉄東西線の開業に合わせ民間の開発等が活発化していくこれからの数年間の取組みが重要であり、民間開発が着実に進むよう、東西線開業の平成27年度を目標とした取組施策を提示します。

#### \*IV章で提示している取組施策の凡例区分

[平成27年度までに具体的な取組みを行う施策]

[平成27年度までに具体化に向けた検討を行う施策]

※各駅の地図上で提示している施策の凡例区分

[市が整備、検討する施策]

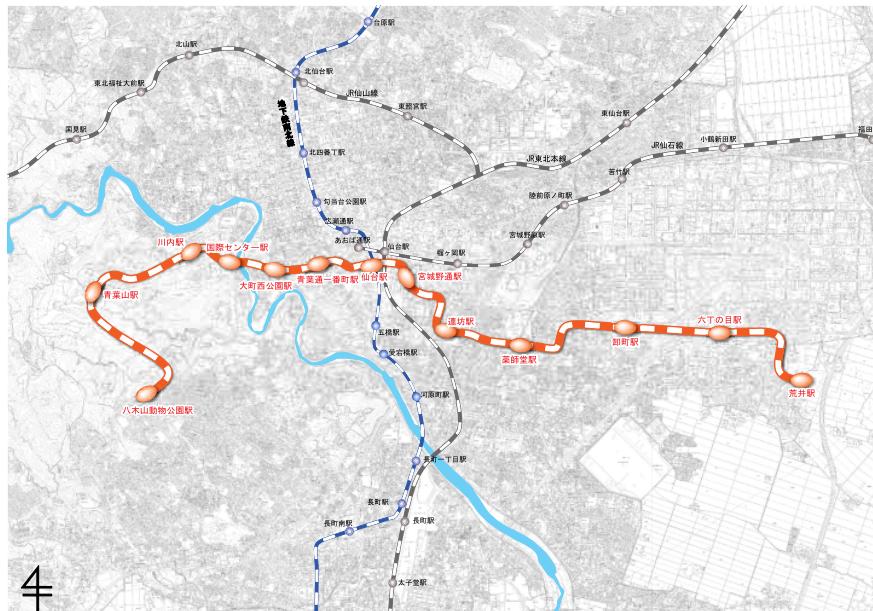
[市が民間等の取組みを支援・誘導する施策]

●印を付した施策

○印を付した施策

□で囲んだ施策

□で囲んだ施策



### 共通の取組み

#### 沿線全体としての取組み

- 誰もが東西線を利用しやすいユニバーサルデザインを考慮した駅舎空間を形成するため、駅出入口からホーム階までエレベーター又はエスカレーターによる移動の円滑化を図るなどの取組みを行います。
- 自転車等による乗り継ぎを促進するため、各駅に駐輪場を整備します。
- 高齢者や障害者など全ての人が快適に、安心して東西線を利用できるよう、八木山動物公園駅、青葉山駅、川内駅、薬師堂駅では、バリアフリーに対応した地下自由通路や歩道などを整備するとともに、その他の駅でも、駅までの主要な経路についてバリアフリー化を推進します。
- 駅利用者の利便性の向上や駅周辺におけるまちづくりとの連携の観点から、駅周辺の資源や駅出入口位置を案内、誘導するサインについて検討します。

#### 複数の駅で共通する取組み

- 住まい快適性と安心が実感できるよう、暮らしに必要な生活サービス施設（スーパー、飲食店、医療施設など）を、都市計画の見直しや土地所有者への働きかけなどの取組みにより誘導します。
- 誰もが「杜の都」の伝統と個性を実感できる景観が創生されるよう、景観法を活用した仙台市「杜の都」景観計画における景観重点区域について、ゾーン毎の景観形成方針や建築物の形態、意匠、高さ、色彩などの基準に基づき、魅力的な景観形成を誘導します。
- 景観計画における景観重点区域内の屋外広告物については、仙台市屋外広告物条例における広告物景観地域として、地区特性をふまえた、きめ細かな規制、誘導を図ります。
- 沿線東部地域（薬師堂駅～荒井駅周辺）において、浸水被害の軽減及び健全な水環境の保全への取組みとして、安全安心で快適な住宅地の環境の形成に向けて、雨水の排水施設の整備を行います。
- 駅前広場を整備します。
- 駅への主要な結節ルートとなる都市計画道路を整備します。
- 駅周辺の低密度利用となっている地区において、市街地再開発事業、優良建築物等整備事業や総合設計制度、都市再生特別地区等の制度活用の促進により、建物の建替えや土地の高度利用を誘導します。
- 沿線東部地域（薬師堂駅～荒井駅周辺）等において、震災で住まいを失い、自力再建が難しい方が入居できる復興公営住宅を整備します。
- 高齢者が安心して暮らすことができるよう、高齢者の入居に配慮した住宅の誘導や、安心して住替えができるような方策について検討します。
- 若い世代の居住者が増加する駅周辺や多くの人が集まる交通結節駅周辺において、安心して子どもを生み育てられ、また、子どもが健やかに育つことができるまちとなるよう、子育て支援機能の立地誘導や学校教育環境の充実を検討します。
- 東西線開業により駅周辺における居住者の増加が予想されるため、新旧居住者が一体となる地域コミュニティが円滑に形成されるよう、地域住民等による取組みを支援します。
- 商業施設や生活サービス施設の立地の誘導を図る駅周辺において、近隣の公共施設や商業施設等の多目的スペース等を活用し、若年層から高年層まで多くの人々が集い、交流しながら、地域で共に楽しむ健康づくり事業を推進します。

#### 南北線など他路線の沿線を含めた取組み

- 自然、アミューズメント、都心部における観光などの沿線の魅力を市域全体に広げるよう、沿線各施設の運営機関や団体と連携して、共通イベントの開催や共通チケットの発売等の検討を進めます。
- 3つのプロスポーツチームを中心とした合同イベントの開催など、ファン同士の交流促進に向けた取組みを進めます。
- 歴史文化の魅力を市域全体に広げるよう、沿線の歴史資源を活用しながら関連施設等と連携したイベントの開催や共通チケット発売等の検討を進めます。
- 歴史交流軸と一体となった厚みのある観光の推進に向けて、東西線、南北線沿線の歴史資源を盛り込んだ「地下鉄沿線歴史マップ」等の作成、各駅での周辺歴史資源の位置やアクセスルートの表示、さらには沿線の歴史的資源継承・活用事業との連携について検討します。

# 八木山動物公園駅



## ① 駅周辺地区の現況

- 駅南側は、戸建て住宅を中心に昭和40年代から開発された住宅市街地が広がっています。
- 駅周辺には、八木山動物公園、八木山ベニーランドや大学等が立地し、駅北側は緑豊かな自然が広がっています。
- 幹線道路沿いは第二種住居地域、その他は第一種低層住居専用地域に指定されています。

## ② まちづくりの目標

### さまざまな人が魅力を感じて訪れる、人と自然が響きあう街の形成

- 緑豊かで戸建て住宅地が広がる南西部地域の玄関口となる東西線の西の起点駅として、また、動物の展示の工夫等により動物が身近に感じられる動物園づくりを目指す八木山動物公園の再整備や青葉山の自然を活かした魅力的な森の交流ゾーンの形成により、多くの観光客や通勤通学者が行き交い、滞在し、楽しめる魅力を持った街の形成を目指します。
- 暮らしを支える様々な施設の立地を誘導し、地域のコミュニティを元気にするとともに、駅を中心とした便利で移動しやすい交通環境を形成することによって、高齢者をはじめ地域住民だれもが安全安心に暮らせる街の形成を目指します。



## ③ 目標の実現に向けた施策

- 西の起点駅として新たな顔となる駅前地区を創造
- 既存の地域活動を活かしたコミュニティ機能の強化
- 本市の新たな個性となる魅力的な森の交流ゾーンの形成
- 豊かな自然環境を活かした優れた街並みの創出
- 駅を中心とした便利で移動しやすい交通環境の形成

